

緑のセンターたより

NO.116 平成20年11月1日発行

発行元：(財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

柿

Diospyros kaki カキノキ科 カキノキ属

柿くえば鐘が鳴るなり法隆寺 正岡子規
水飲むがごとくに柿食う酔いのあと 高浜虚子

多くの歌や俳句に詠われているように、柿は日本原産の果物として*Diospyros kaki*の名で世界に流通していますが、中国揚子江流域、朝鮮中南部に自生していたものが古代に入ってきたとする説もあるようです。柿はカキノキ科カキノキ属の落葉性の木で、本州、四国、九州に広く分布しており北海道でも本州から入ってきたものが道南、道央の一部で作られています。樹高は3~10m、樹皮は灰褐色、古くなると縦横に溝が入りコルク状になります。若い枝には細かい毛が生えます。葉は互生し、7~17cm、晩秋には紅葉します。花は黄緑色で晩春~初夏に咲きます。雄花は集散花序で数個がつき、雌花は一個でやや大きいです。果実は多肉の液果で秋には黄赤色で食用にします。皮を剥いて天日乾燥し

た干し柿、枯露柿、串柿ほか、盆栽などにして観賞用としても楽しめます。

柿の品種は多く、日本全体で千種類を超えるとも言われています。大きく渋柿と甘柿に分かれ、渋柿は実が熟しても渋が残り、甘柿は渋柿の突然変異と考えられており、未熟なうちは渋いですが熟していくにしたがって甘みが強くなっています。甘柿には、熟すと常に



平核無
(ヒラタネナシ)

甘みを持つ完全甘柿と、種子の有無多少により成熟時に渋みが残る不完全甘柿とに分類されます。不完全甘柿は渋が残ることから渋柿に含めることもあります。甘柿には富有、次郎などがあり、日本の柿生産の6割以上を占めています。不完全甘柿には禅寺丸、西村早生などがあり、渋柿には平核無、刀根早生、西条柿など多くの品種があります。

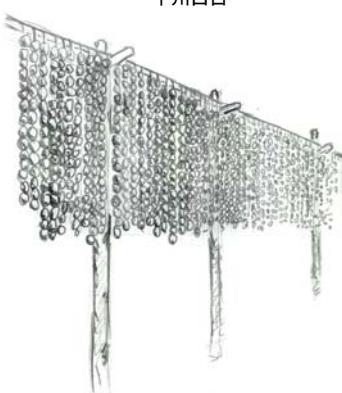
その他、豆柿、姫柿(老翁柿、老鴉柿)など小型で観賞用に盆栽などに作られている柿があります。

柿は食用として生食、干し柿のほか、ジャム、ゼリー、菓子などに加工されて食されており、また渋柿は和傘や扇子の紙に塗り耐水性を高めるためにも使われています。成熟した柿のヘタを乾燥したものは柿蒂という生薬で、しゃっくり止め、鎮咳、鎮吐などにも用いられます。柿の葉を乾燥して粉末にしたものにはミネラル、ビタミンなどを多く含み、血管の強化止血作用を持つとされ、古くから民間療法に用

いられています。柿の木は材質が硬く、アメリカガガキなどはゴルフクラブ(ウッド)のヘッドの材料として、パーシモンの名で使われています。(S.Y.)



甲州百目



11月の園芸

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

- ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
- ☆百合が原公園 冬期は受け付けておりません
- ☆平岡樹芸センター 冬期は受け付けておりません

急に気温も下がってきたこの頃です。ストーブや冬タイヤなど、冬の準備に追われる季節ですね。

ところで、お庭の冬支度は万全ですか？

今日は植物の冬支度の特集です。今シーズン私たちを楽しませてくれた植物たちをしっかりと守ってあげましょう。

◆庭木の冬囲い

冬囲いの目的

冬囲いは、大切な庭木、花木を寒さや、雪による枝折れ、枝裂けなどの雪害から守るために行います。庭木、花木は低温よりも、乾風、寒風によって幹や枝、花芽が傷むことが多いため、寒さに弱い樹種についてはムシロ掛けなどを保護します。雪害を防ぐためには、灌木などは根曲がり竹を立てて縄を巻き、マツなどの高木については枝吊などを行います。

冬囲いは、実用七分に美景三分と言われるように、美的要素も重要視され、北国の冬には欠かせない風物詩です。

冬囲いの時期

株の結束、支柱立て、枝吊などは11月に入り地面が凍結する前の暖かいうちに始めましょう。庭木、花木は寒さが厳しくなるにともない低温に対する抵抗力(耐寒性)が増しますが、最も耐寒性が増すのは12月下旬頃です。積雪の関係もあり、12月中旬までにムシロ掛けを済ませましょう。

冬囲いの材料

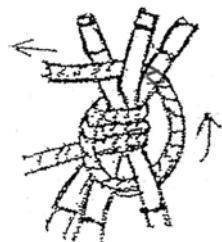
玉縄(細い方が使いやすい)、プラスチックひも、ムシロ(荒ムシロ、ワラ、プラスチック)、シート、ネット、根曲がり竹、晒し竹、丸太(カラマツ、トドマツ)、各種製材

基本中の基本
男結び

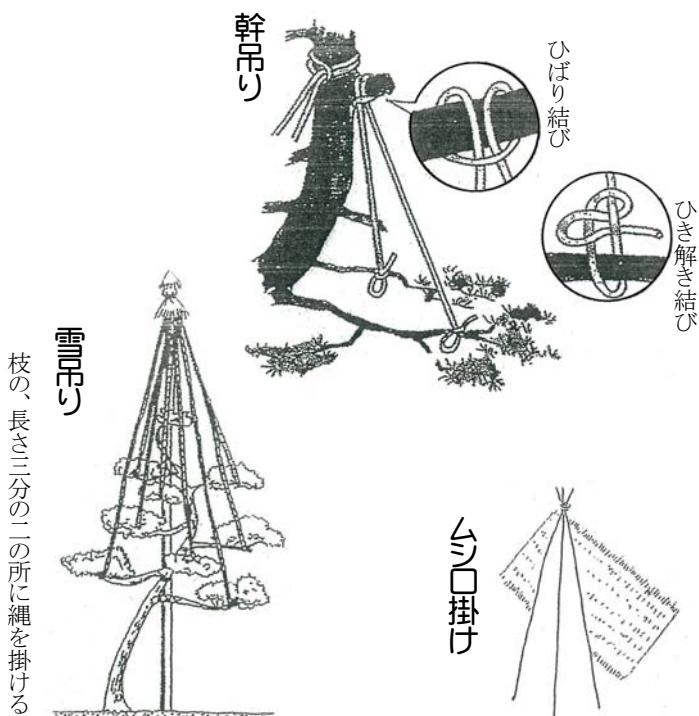


男結び

竹の先は右回りか左回り、どちらかにそろえる。
三度巻き→縦割り→最後に手前で男結び



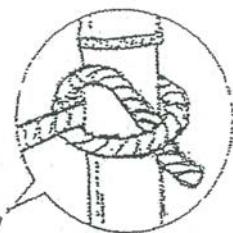
ひと結び



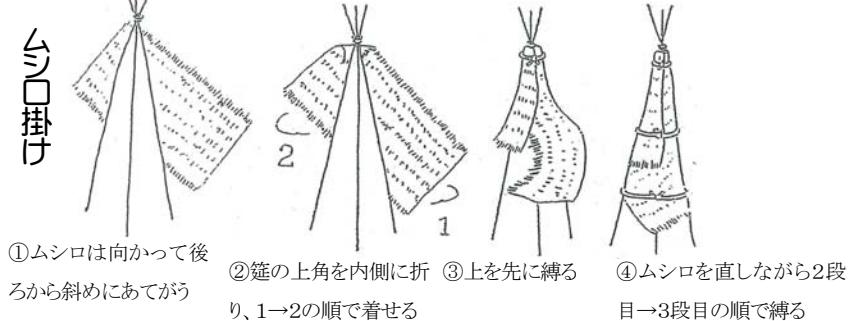
竹囲い



先に軽く株を縛り、根曲がり竹を四～五本立て、縄を下から上へ巻き上げる



ひと結び



①ムシロは向かって後ろから斜めにあてがう

②縫の上角を内側に折り、1→2の順で着せる

③上を先に縛る
④ムシロを直しながら2段目→3段目の順で縛る

◆盆栽の管理

越冬前の手入れ

落葉樹は葉もほとんど落ち、常緑樹も体内に十分に養分を蓄えて、盆栽は長い冬籠りの態勢に入っています。また早春から夏にかけて花を咲かせるものは花芽もできて、葉芽とは区別できるようになってきています。越冬に入る前に枯れ枝、徒長枝、込み合った枝は剪定しておきます。雑草や置き肥えなども取り除きます。ハダニ、カイガラムシ、その他の害虫の卵、病原菌の胞子や菌核なども付着していますので、越冬前に石灰硫黄合剤20倍液をたっぷり散布しておきましょう。

越冬場所と注意点

盆栽の冬越しでポイントとなるのは、枝折れしないこと、水切れさせないこと、耐寒性の弱い樹種(サツキ、ピラカンサ、クチナシ、カキなど)は氷点下にならないことなどです。耐寒性の弱い樹種は0°C(すくなくとも±5°C前後)の地下室またはブロックなどの外室で乾かないように鉢土を雪で覆って越冬させます。その他の寒さに強い樹種は鉢棚の下や、枝の込んだ庭木の下などに置いて、枝が折れないようにやわらかい雪で覆って自然の状態で越冬させるようにします。暖かい室内での冬越しは好ましくありません。

越冬中の管理

屋外に置いてあるものについては、越冬中に注意することは特にありませんが、雪解け近くになると雪の圧力で枝折れする心配があります。3月下旬頃には慎重に鉢の上の雪を取り除きます。室の中のものは鉢を覆っている雪が解けてなくなっていることがありますので、雪を補充します。3月になり温暖な日には室の覆いをはずして陽光に当て、夕方、気温が下がる前に覆いを戻して保温します。この頃、葉にカビが生えることがあります、そのような場合は殺菌剤を散布します。

越冬場所から取り出して改作、樹形作り、針金掛けなどをしても差し支えありませんが、作業を終えたら速やかに越冬保管場所へ戻すことを忘れないように気をつけてください。

◆芝生の越冬

北国は間もなく降雪の季節。地面が凍るような低温が続くこともあります。芝生の生長は停止して、これから半年の休眠期に入ります。芝生の年内の管理作業はほとんど終わりとなります。越冬に向けての清掃や病気の予防を怠りなく済ませておきましょう。

芝面の清掃

落葉樹の落ち葉が芝生面に散飛したまま越冬すると、特に広葉樹の落ち葉が芝面に張り付き春の芝生の萌芽に影響します。根雪前に落ち葉を熊手などでかき集めて除去しましょう。

薬剤散布

芝生の越冬時の大敵は雪解け期に発生する雪腐大粒菌核病、雪腐小粒菌核病、紅色雪腐病、褐色雪腐病など各種の雪腐病です。

防除は根雪直前が最適で、殺菌剤の散布を行ないます。散布した後、15日くらい根雪にならない場合はその間に薬効が薄れますので、もう一度同じ作業(散布)をします。

薬品名	倍率	散布量	散布方法
トップジン M水和剤 ダコニール 1000 水和剤	800~1000 〃	1リットル/m ² 〃	ジョウロでまんべんなく散布 〃
グランサ水和剤	500~1000	1リットル/m ²	ジョウロでまんべんなく散布
グラステン粒剤		40g/m ²	手で均一に散布

11月～12月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
シクラメン他 冬の鉢花の室内管理	11/9（日）	13:30～	9/11～	無料
各種洋ランの冬の管理	11/15（土）	〃	11/11～	〃
正月用ミニ盆栽を作ろう	12/13（土）	〃	〃	2,500円
展示会				
菊花展	10/28（火）～11/3（月・祝）	札幌菊花同好会		
洋ラン展	11/11（火）～16（日）	北海道蘭友会		
シクラメン展	11/19（水）～30（日）			
リース展	12/2（火）～25（木）	豊平公園花とハーブの会		
クラフト講習会				
アレンジ押花講習会「年賀状」	11/21（金）	10:00	11/11～	1,500円
自然素材でリースを作ろう	12/6（土）	10:00 13:30	〃	1,500円
コチョウラン植え替えサービスディ お客様のお持ちのコチョウランを、緑の相談員が 植え替え実演ご指導いたします。（予約制）	11/14（金）	9:00～ 16:00	11/11～	材料実費

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

展示会	日	料金
クリスマスディスプレイ	11/26（水）～12/14（日）	130円

平岡樹芸センターからのお知らせ

平岡樹芸センターは11月6日をもって本年の営業を終了いたします。

たくさんのご来園ありがとうございました。

来シーズンは4月下旬から開園する予定です。またのお越しをお待ちしております。

百合が原公園からのお知らせ

百合が原公園の緑の相談窓口は11月2日をもって本年のサービスを終了いたします。

来年は4月下旬からサービスを開始いたします。

冬期間の植物に関するご相談は、豊平公園緑のセンターの緑の相談窓口で受付しております。